Konica

TOP'S

AF-300

使用説明書

各部の名称

❶途中巻き戻しボタン
❷モード切替えボタン
❸表示パネル
❹シャッターボタン
❺セルフ
タイマーランプ
❻測光窓
❼ストラップ
取付け部
❽ファインダー窓
❾オートフォーカス窓
❿フラッシュ
⓫レンズ
(レンズカバー)
⓬メインスイッチ
TOP'S AF-300
AF
AUTO FOCUS
KONICA LENS
Konica

⑬ファインダー接眼窓

⑭フィルム確認窓

⑮裏ぶた

⑯裏ぶた開放ノブ

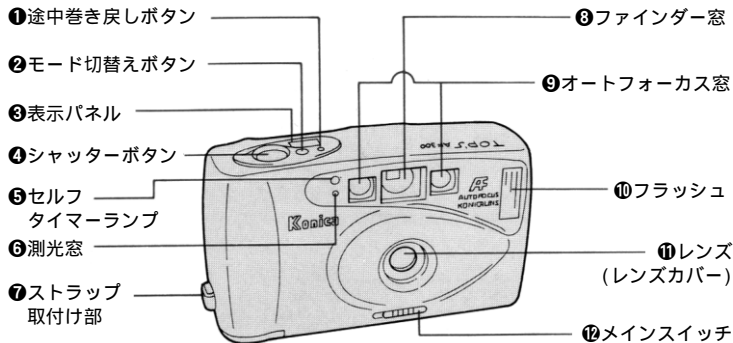
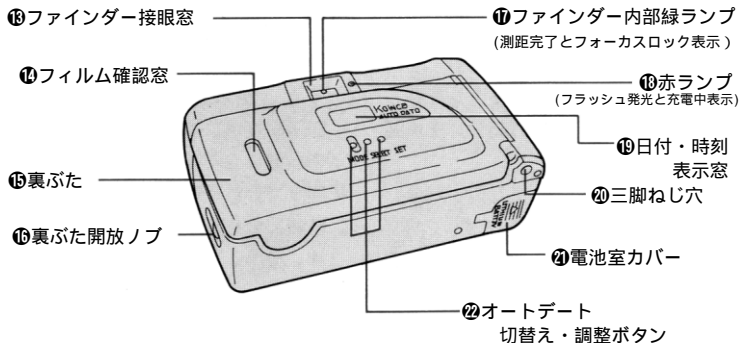
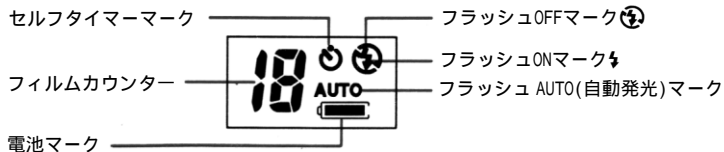
⑰ファインダー内部緑ランプ
(測距完了とフォーカスロック表示)

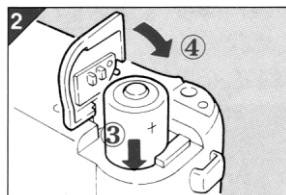
⑱赤ランプ
(フラッシュ発光と充電中表示)

⑲日付・時刻表示窓

⑳三脚ねじ穴

㉑電池室カバー

㉒オートデート切替え・調整ボタン

表示パネル

1.　電池を入れてください

電池室カバーをスライドさせ、ふちに爪をかけてカバーを開けます。

パッケージに入っている電池を正しく入れます。
＊ 使用電池はリチウム電池(DL123A、CR123A:3V)
　１本です。

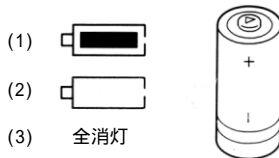
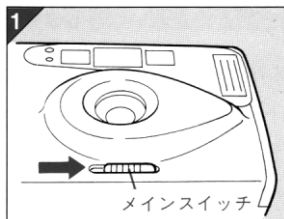
電池室カバーを閉じます。

電池の交換時期

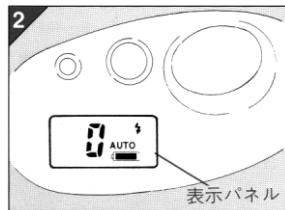
(1)　　電池の容量は充分です。
(2)(3)　電池の容量が無くなりました。
　　　電池を交換してください。

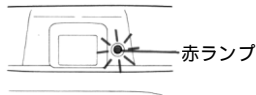
(1)

(2)

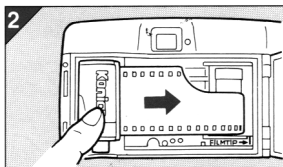
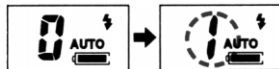
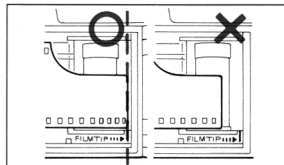
(3) 全消灯

2．レンズカバーを開けてください

メインスイッチをスライドすると、レンズカバーが開き、電源ONになります。

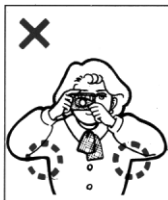
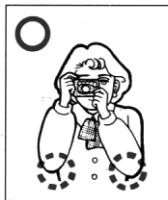
＊ カメラを使用しないときは、メインスイッチを反対方向にスライドしてレンズカバーを閉じ、電源OFFにしてください。

メインスイッチを入れると、表示パネルに ▭、ϟ AUTO、0（フィルムカウンター）が表示されます。

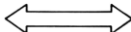
＊ レンズカバーを開けたとき、赤ランプが点灯した後消えます。点灯の間は充電中なのでシャッターはきれません。

３．フィルムを入れてください

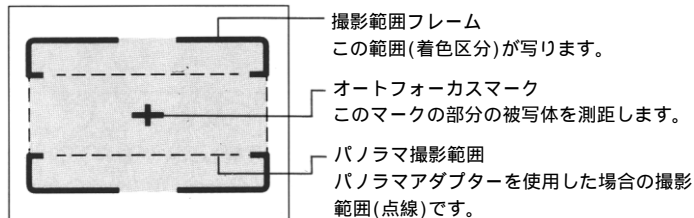
レンズカバーを開けてからフィルムを入れてください。

裏ぶた開放ノブを押し下げ、裏ぶたを開けます。次に、フィルム入れます。

フィルムの先端をカメラ内部のマーク(FILMTIP ▮▮▮▮▮▶▏)に合わせ、裏ぶたを閉じます。
シャッターボタンを１回押すと、フィルムカウンターに“ 1 ”が出ます。

＊ フィルムが送られていないときは“ 0 ”のまま点灯します。入れ直してください。

4．正しい構え方

カメラを両手でしっかり持ってカメラぶれを防ぎましょう。

カメラの背部を頬に当て、両ひじを軽くしめると安定します。両ひじを開くとカメラぶれをしやすくなります。

＊ 指や毛髪などがレンズ、オートフォーカス窓、測光窓、フラッシュ部をじゃましないように気をつけましょう。

タテ位置のフラッシュ撮影では、フラッシュを上に構えてください。
フラッシュを下にして発光すると写真が不自然になります。

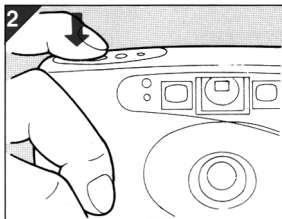
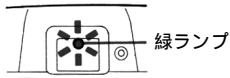
ファインダーの見方

日中撮影距離　1.2m ⇔ ∞

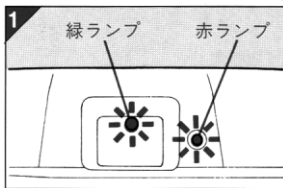
フィルムは…

* DXコードの付いた35㎜フィルム(感度ISO100，200，400)をご使用ください。DXコードのないフィルムは、すべてISO100に設定されます。
* コニカカラーフィルムのご使用をおすすめします。

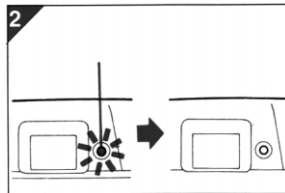
5．基本撮影(自動フラッシュ撮影)

撮影前にレンズカバーを開けてください。

オートフォーカスマークを被写体の中央に合わせ、シャッターボタンを半押しすると、緑ランプが点灯しピント位置が固定されます。
(緑ランプが点滅したときは被写体から近すぎます。少し離れてからシャッターボタンをおし直してください。)

シャッターボタンをさらに深く押して撮影します。
＊ 撮影が終るとフィルムが自動的に１コマ巻き上げられ、フィルムカウンターの数字が１つ加算されます。

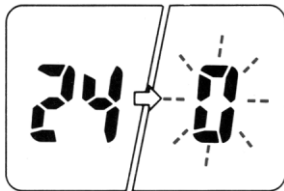
暗いときはフラッシュが自動発光します。

シャッターボタンを半押しして、緑ランプと共に赤ランプが点灯したときは、フラッシュ撮影されます。

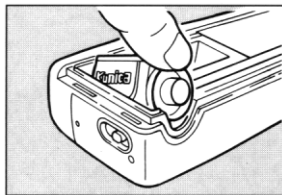
フラッシュ撮影の距離

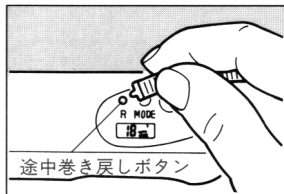
ISO100/200	1.2m〜3.0m
ISO400	1.2m〜6.0m

フラッシュ撮影が終わると、赤ランプが点灯した後消えます。消灯を待って次の撮影をしてください。

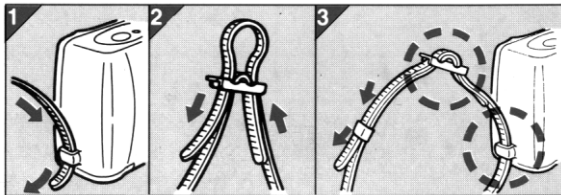
＊ 赤ランプ点灯の間は充電中なのでシャッターがきれません。(赤ランプはフラッシュ発光表示と充電中表示を兼ねています。)

6．フィルムの取り出し方

フィルムが最後になると、自動的に巻き戻されます。

フィルムを全部撮り終えると、自動的に巻き戻しが始まります。巻き戻しが終わるとフィルムカウンターが“ 0 ”になり点滅します。

＊巻き戻し中はフィルムカウンターが減算します。

フィルムカウンターの“ 0 ”点滅を確認後、裏ぶたを開けフィルムを取り出してください。

撮影途中での巻き戻し

フィルムの途中で巻き戻すときは、途中巻き戻しボタンをストラップの調整具で押してください。

ストラップの取付け方

7．フォーカスロック撮影

画面中央からはずした被写体をシャープに写すことができます。

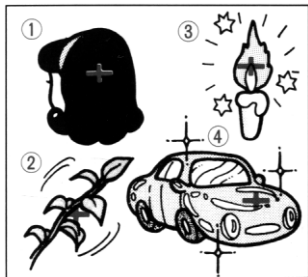
オートフォーカスマークを被写体の中央に合わせ、シャッターボタンを半押しすると、緑ランプが点灯し、フォーカス(ピント)ロックされます。

＊同時に露出もロックされます。

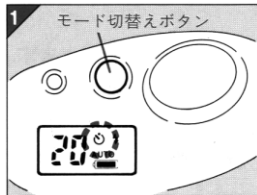
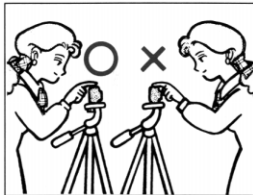
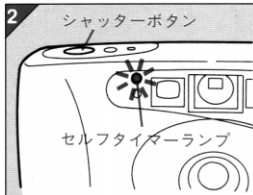
半押しのまま構図を決め直し、シャッターボタンを深く押して撮影してください。被写体の位置が画面の端でもピントが合います。

＊ カメラの向きを直したとき、被写体までの距離を変えないでください。

＊ 半押しした指を離すと、フォーカスロックは解除されます。

オートフォーカスが正しく働きにくい被写体

- ①黒くて反射しにくいもの、②小さいもの、③発光体、④光沢のあるもの、細いものは測距しにくいので、等距離にある測距しやすいものに向けてフォーカスロック撮影をしてください。
- ガラス越しの撮影は、フォーカスロック撮影も有効ですが、カメラをガラスに密着させて写せば、正しい測距ができます。

8．セルフタイマー機能

記念撮影で自分も画面に入ることができます。

モード切替えボタンを押して、表示パネルのモード表示を ◌̇(セルフタイマーモード)にします。

被写体に向けてシャッターボタンを押すと、セルフタイマーがスタートします。
セルフタイマーランプが点灯の後点滅し、約10秒後にシャッターがきれます。暗いところではフラッシュが自動発光します。

＊カメラのうしろ側からシャッターボタンを押してください。前からではピントが合いません。
＊シャッターボタン半押しで、フォーカスロック、露出ロックができます。
＊作動中にキャンセルしたいときは、レンズカバーを閉じて電源OFFにしてください。
＊セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚等でカメラを固定してください。
＊撮影終了後、自動的に ϟAUOTモードに戻ります。

9．日中フラッシュ撮影(フラッシュON)

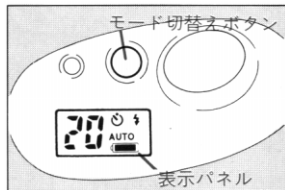
逆光や室内窓際の人物、くもりや日陰の人物を明るくきれいに写します。

モード切替えボタンを押して、表示パネルのモード表示を ϟ (フラシュONモード)にします。
被写体に向けてシャッターをきれば、明るい場所でもフラッシュ撮影ができます。

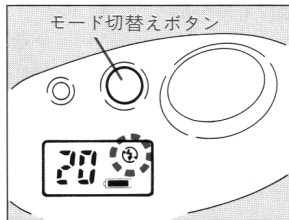
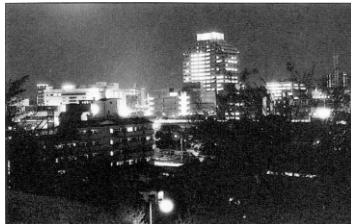
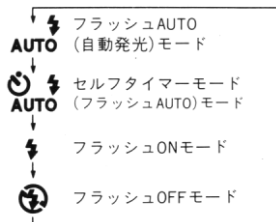
フラッシュ使用

フラッシュなし

＊ 被写体が暗い場合は、カメラぶれしやすいので必ず三脚をご使用ください。
＊ 撮影終了後、ϟ AUTOモードに戻してください。

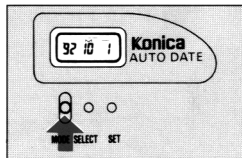
モードの切替え操作

モード切替えボタンによって、セルフタイマー撮影、日中フラッシュ撮影、夕・夜景の撮影ができます。
モード切替えボタンを押す毎に、表示パネルのモードは順次表示され循環します。

10. 夕、夜景の撮影(フラッシュOFF)

夕景や都会の夜景などの雰囲気を生かした情景を、フラッシュなしで写せます。

モード切替えボタンを押して、表示パネルのモード表示を ⊕ (フラッシュOFFモード)にします。
被写体に向けてシャッターをきれば、1/15秒までのスローシャッターによる自動露出撮影ができます。
ISO400のときは1/60秒になります。

＊ 暗くて自動露出が働かないときは、2秒の超スローシャッターで撮影されます。
＊ 夕、夜景撮影では、カメラぶれしやすいので必ず三脚をご使用ください。
＊ 撮影終了後、ϟ AUTOモードに戻してください。

＊ メインスイッチをONにすると AUTOモードに設定されます。
、モードは、一度設定するとそのモードで撮影を続けられます。
撮影終了後、AUTOモードに戻しましょう。
＊モードは撮影終了後、自動的に AUTOモードに戻ります。

オートデート

このカメラのオートデートは、2019年12月31日までの日付・時刻を記憶し、自動的に画面に写し込むことができます。

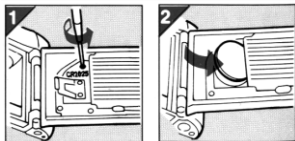
表示モードの切替え

MODEボタンを押して、年月日・日時分・写し込みなしのどれかを選びます。

日付・時刻の修正

1) MODEボタンで日付(時分)を表示した後、SELECTボタンを押して、修正する日付(時分)を点滅させます。
2) SETボタンを押して日付(時分)を点滅のまま修正します。
3) SELECTボタンを押すと点滅が点灯になり、____のマークが現れて写し込みの状態になります。

＊ 分を修正した後SELECTボタンを押すと：が点滅します。もう一度SELECTボタンを押して、写し込みの状態にしてください。

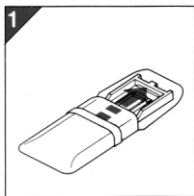
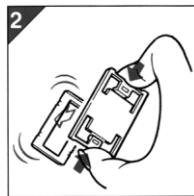
＊ 秒まで合わせるには、：の点滅時に時報に合わせてSETボタンを押します。さらにSELECTボタンを押して、写し込みの状態にしてください。

オートデート用電池の交換

リチウム電池(CR2025:3V)を使用しています。およその交換時期は約４年です。デート文字が見えにくくなったら新しい電池と交換してください。

＊電池交換後デートを修正してください。

パノラマ撮影

パノラマアダプターの取付け方 1

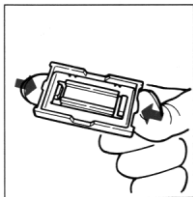
付属のコニカパノラマアダプターを取付けることによって、広がりのある風景などを収めることができダイナミックな撮影が楽しめます。
＊パノラマアダプターは、必ずフィルムを入れる前に取付けてください。
＊装てんしたフィルムは、すべてパノラマ写真になります。
＊パノラマ撮影では、日付は写りません。

1. パノラマアダプターをケースから取り出します。

2. ホルダーの左右を指で押すと、パノラマアダプターが外れます。

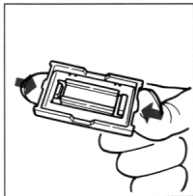
裏ぶた開放ノブを押し下げて裏ぶたを開け、図のようにパノラマアダプターを画枠に取付けます。

＊ パノラマアダプターを正しい向きで、画枠に合わせて取付けてください。

フィルムを入れ、ファインダーのパノラマフレーム内で構図を決め、撮影してください。

＊ フィルムの入れ方、正しい構え方、基本撮影から応用撮影までのすべての操作は一般撮影と同じです。

パノラマアダプターの収納方法

＊ 現像・プリントをご依頼になるときは「パノラマシール」をパトローネ(フィルムの容器)に貼り、必ず「コニカ百年プリント“ パノラマサイズ ’」とご指定ください。ご指定のない場合は、一般のサービスサイズでプリントされることがありますので、ご注意ください。

カメラから外してホルダーの上にのせ、左右を指で押すとパノラマアダプターが固定されます。
＊使用しないときはケースに収納して、ストラップに通して保管してください

カメラから外してホルダーの上にのせ、左右を指で押すとパノラマアダプターが固定されます。

＊ 使用しないときはケースに収納して、ストラップに通して保管してください。

＊ 現像・プリントをご依頼になるときは「パノラマシール」をパトローネ(フィルムの容器)に貼り、必ず「コニカ百年プリント“パノラマサイズ’」とご指定ください。ご指定のない場合は、一般のサービスサイズでプリントされることがありますので、ご注意ください。

おもな仕様

形式	レンズシャッター式オートフォーカス全自動35mmカメラ
画面サイズ	24×36mm
レンズ	コニカ34mm F4.5（3群3枚）
シャッター	絞り兼用プログラムシャッター、電磁レリーズ、 2秒・1/15～1/160秒（無段階変速）
メインスイッチ	レンズカバー開放で電源ON、電源OFFでシャッターロック
焦点調節	赤外線ノンスキャンアクティブ式自動焦点、 撮影範囲:1.2m～∞、フォーカスロック可能
露出連動範囲	ISO 100: EV8 ～ EV15 、 EV8未満　F4.5・2秒
フィルム感度	自動設定（ISO 100/200、ISO 400）
ファインダー	アルバダ式透視ファインダー、ブライトフレーム、オートフォーカスマーク、接眼窓内に測距完了表示、接眼窓脇にフラッシュ発光およびフラッシュ充電中表示
フラッシュ	手振れ限界輝度時に自動発光するフラッシュマチック機構、 連動範囲：ISO 100で1.2m～3.0m、ISO 400で1.2m～6.0m、 発光間隔：約4秒、フラッシュＯＮ・フラッシュＯＦＦに切替え可能

セルフタイマー	電子式、作動時間：約10秒、セルフタイマーランプが約７秒点灯した後約３秒点滅、途中解除可能
フィルム給送	フィルム給送　電動式、シャッターボタン１回操作によるオートローディング、自動巻き上げ、フィルム終了で自動巻き戻し、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能
フィルムカウンター	順算式液晶カウンター
オートデート	液晶表示式デジタルウォッチ内臓、2019年までの年月日・日時分、写し込みなし・月日年・日月年の切替え可能
電池寿命	50%フラッシュ発光のとき：約20本以上（24枚撮りフィルム）
電源	リチウム電池（DL123A、CR123A:3V）１本、 オートデート用としてリチウム電池（CR2025:3V）１コ
大きさ・重さ	130×73×50.5mm、230g（電池別）

＊上記の性能については当社試験条件によります。
＊製品の仕様、外観は予告なく変更することがあります。